



News Release

Coca-Cola Central Japan Company, Limited

2009年4月17日

報道関係各位

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社



"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿 8 耐オリジナルデザイン 350ml 缶
4月27日(月)より三重・岐阜県内の自動販売機中心に数量限定発売

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社(本社:横浜市西区みなとみらい2-2-1、代表取締役社長:高橋顕三)では、「FIM 世界耐久選手権シリーズ第4戦"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8時間耐久ロードレース 第32回大会」(以下、「"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐」)の開催を記念して、「"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐オリジナルデザイン 350ml 缶」(2種類)を4月27日(月)より三重県・岐阜県内の自動販売機を中心に数量限定発売します。



"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿 8 耐オリジナルデザイン缶

2007年のブランド立ち上げの年から継続している「コカ・コーラ ゼロ」と鈴鹿8耐とのパートナーシップ。3年目を迎えた今年は、その関係を更に一歩進め、コカ・コーラ ゼロとして初めての大会オリジナルデザイン缶を開発いたしました。バイクならではのスピーディーな疾走感を表現したものと、鈴鹿8耐の象徴とも言えるスタート直前のサーキットの熱狂と臨場感を表現したものと、2パターンのデザインで開発。鈴鹿8耐のコアなファンのみならず、バイクやモータースポーツ全般に興味を持っている、より幅広い層に対しても「コカ・コーラ ゼロ」ブランドならではのワイルドな世界観を訴求することで、夏のモータースポーツの風物詩として長年の歴史を誇る「"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐」を、熱く、そしてパワフルに盛り上げてまいります。

【鈴鹿8時間耐久ロードレースとは】

鈴鹿8時間耐久ロードレースは、世界耐久選手権の1戦として位置付けられるオートバイレースで、1978年に三重県・鈴鹿サーキットにおいて、第1回大会が開催されて以来、世界のトップライダーが熾烈な戦いを繰り広げるレースとして多くのファンの支持を集めています。2人または3人のライダーがバイクを乗り継ぎ、8時間でどれだけ長い距離を走破したかを競う、そのレースの特徴から『8耐』の愛称で親しまれ、今年で32回を迎えます。コカ・コーラシステムでは1984年から26年間、『8耐』に冠協賛し、モータースポーツの振興に寄与するとともに大会運営を支援しております。

【コカ・コーラ ゼロについて】

日本での発売は2007年6月。“「コカ・コーラ」ならではの特別な美味しさを糖分ゼロで味わえる”という製品の特長が、20～30代の男性を中心に支持を集め、競争環境の厳しい清涼飲料市場においても発売以来2年連続して成長を遂げております。

そして本年2月には製品設計、パッケージデザイン、広告コミュニケーション、店頭での販売活動など、あらゆる活動を全面的に刷新し、“「コカ・コーラ」ならではのワイルドさを持ちながらも、糖分ゼロ・保存料ゼロの製品設計によるヘルシーさを兼ね備えたブランド”として、生まれ変わりました。

“コカ・コーラならではの美味しさと、糖分ゼロ・保存料ゼロを両立”した製品特長にあるよう、相対する二つの異なる価値を既成概念にとらわれない発想により両立したブランドであることを、“WILD HEALTH”というアイコンと共に、様々な活動を通じて幅広く訴求し、全てのお客様に愛される“No.1ゼロ飲料”としてのポジションを確立することを目指します。

【製品概要】

製品名 : コカ・コーラ ゼロ

品名 : 炭酸飲料

原材料名 : カラメル色素、酸味料、甘味料(アスパルテーム・L-フェニルアラニン化合物、アセスルファム K、スクラロース)、香料、カフェイン

カロリー : 0kcal/100ml

パッケージ/メーカー希望小売価格(消費税込)
350ml 缶/120 円

発売日 : 2009年4月27日(月)より 数量限定発売

発売地域 : 三重・岐阜県内の自動販売機 (一部取扱いのないところもございます)